

未来への一歩

～ 生活指導部だより ～

平成28年 6月28日(火)

第3号

自分自身を振り返り成長のきっかけをつかんだ6月 どんな大きな目標も、まずは目の前の一歩から・・・

大成功の運動会から1カ月…。6月は中間考査や十中十箇条アンケートなど、4月からの生活や自分の取り組みを振り返るチャンスが多くありました。大切なのはそのチャンスから、さらなる成長へのきっかけをきちんとつかむことです。

「**小さなことを積み重ねることが、とんでもないところに行くただひとつの道だと思う**」これは日米通算4257安打を達成したイチロー選手の言葉です。できなかったこと、やりきれなかったことにきちんと向き合い、今できることは後回しにせず、すぐに行動に移しましょう！

《前期中間考査》

今年度からテスト1週間前の学力充実期間の取り組みがリニューアル。放課後に各教科から「今日は〇〇をやるよ!」というような形で事前に内容が提示された「学力充実教室」が開かれました。どれも魅力的な内容ばかりで、みなさんも計画段階から、いつどこに行こうか悩んだのではないのでしょうか?テスト範囲の最重要ポイントがもう一度授業形式で復習できたり、教科によってはまとめプリントのようなものが用意されていたり、お徳感たっぷりの5日間となりました。結果にはつながりましたか?7月11日(月)からは各教科で学習状況の確認が始まります。テストの点数そのものもちろんですが、提出物や授業への取り組みなど、この機会に自分自身を振り返りましょう!

《セーフティ教室》

交通事故の実際の様子をスタントマンが再現するというスケアードストレイト教室を実施しました。自動車とぶつかって自転車がぐにゃっと曲がる様子やちょっとした不注意で事故が起きる状況を目の前で見たことで、交通事故の危険性や交通ルールについても再確認することができました。司会進行やあいさつ、スタントマンの方のお手伝いは生活委員が務めました。

《SNS学校ルールの作成に向けて・・・》

以前、宿題として「家庭ルール」を作成しましたが、いよいよ「学校ルール」の作成に向けての取り組みがスタートしました。臨時委員会(生徒会役員、学級委員、生活委員)を開き、他校や他区ですでに制定されたルールについて意見交換をしたり、家庭ルールの内容を、キーワードでまとめたりする作業を行いました。その後、臨時委員会で話し合った内容をクラスに持ち帰り、クラス討議を行った上で、専門・中央委員会でルールの決定を行いました。「目の前の友達を大切にすること」「使用時間はきちんと家庭で決める」といった内容にまとめられ、現在最終調整中です。



《いのちの教室・触れ合い体験・保育実習》

6月21日(火)に2年生はその前週の「いのちの教室」に引き続き「触れ合い体験」、3年生は中野たから幼稚園での「保育実習」を実施しました。命の大切さ、家族の存在、自分の心と体の成長など小さな子どもたちとの触れ合いを通じて、多くの気づきを得ることができました。

【2年生の感想】

- ・お母さんたちが本当に一生懸命赤ちゃんに向き合っていて感動しました。自分の親にも大事に育ててくれたことを感謝しなくてはと思いました。
- ・今回の触れ合いを通して、赤ちゃんたちが安心して過ごせるような環境を作っていきたいと思いました。
- ・夜泣きが2時間に1回あるというのを知ったとき、あまりにも大変だと感じました。将来、僕に子どもができて、子育てをするときは、ちゃんと奥さんのことを敬い、やさしく接したいと思いました。
- ・人形で練習したのとは全然違い、本物の赤ちゃんを抱っこして重さや体温がよく分かりました。最初は緊張と不安しかなかったけど、触れあっているうちに自分の心も温かくなりました。



【3年生の感想】

- ・思ったよりもパワフルで、たった1時間なのにとても疲れた。これを毎日続ける幼稚園の先生はすごいと思った。
- ・あっという間の1時間だった。帰りたくなかった。
- ・最初は、話を聞いてくれるか、一緒に遊んでくれるか心配だったが、すぐに「遊ぼう!」と話しかけて嬉しかった。思わず笑顔になってしまった。
- ・小さなトラブルならば、自分たちで解決したり「ゆずり合いだよ」などの言葉もあって、小さいのにしっかりしているなと思った。
- ・一人で大勢の子どもたちの相手をする先生はすごいと思ったし、あらためて過去に自分の面倒をみてくれた先生や家族に感謝したいと思った。
- ・一緒に遊んだ子が折り紙のリボンをくれたとき、とてもかわいくてきゅんとした。将来の夢に対する気持ちが前進した。



《部活動報告》

6月上旬から3年生の最後の大会がはじまりました。熱戦の末、惜しくも負けてしまい引退となってしまった部もありますが、どの部も3年生が非常にすがすがしい顔で、2年半の部活動に対する感謝の想いを述べながら引退していったのが印象的でした。試合内容もちろん、ベンチの様子や道具の準備片付け、会場でのマナーなど「さすが十中生」といった場面も多く見られました。

【野球部】1回戦 VS 富士中 勝ち
2回戦 VS 東大附属中 負け

【サッカー部】予選リーグ① VS 八中 引き分け
② VS 四中 負け
③ VS 二中 勝ち 得失点差により惜しくも決勝トーナメント進出ならず…

【女子バスケットボール部】1回戦 VS 富士中 46-45 勝ち
2回戦 VS 五中 59-54 勝ち
3回戦 VS 宝仙学園中 46-51 負け 中野区ベスト3ならず…

【卓球部】

春季都大会 岡 菜々美・樋口小夏ペア 個人戦ダブルスの部出場
卓球部の選手権大会は7月3日(日)に行われます！

【吹奏楽部・和太鼓部】

7月15日(金)社会を明るくする運動「坂上DEいきいきコンサート」出演
場所：サンブライトビル広場

《十中十箇条アンケート》

十箇条をリニューアルしたこともあり、アンケート用紙も10個のキーワードを埋めてから回答する形式に変更になりました。そもそも、10個のキーワードを覚えているか？といったところから自分自身の振り返りを行いました。残食ゼロキャンペーンの最中だったこともあり、優勝した2年年では「給食を残さず食べよう」の項目で非常に高い達成率を記録しました。学年によって、達成率にばらつきのあるものもあります。自分、そして集団としての課題は何かを考え、次回のアンケートでは80%を越える項目を増やしていけるようにしましょう。

十中の良いところ

- ・全員が仲良し
- ・あいさつが大きくて礼儀正しい
- ・部活動が活発
- ・教室や廊下がきれい
- ・十中生としての誇りを持って生活している
- ・給食がおいしい
- ・行事に本気で取り組む
- ・先生が面白い
- ・先輩たちが優しく接してくれる
- ・先生と生徒の仲が良い
- ・よく笑うところ
- ・テストの1時間目に相互学習がある
- ・自分から行動する人が多い
- ・校庭や体育館の遊び道具が多い
- ・校歌を信念を持って歌っている
- ・いきいきしている
- ・システム手帳があり、その週のふりかえりができる
- ・英語室前からスカイツリーが見える

十中生の課題

- ・メリハリ
- ・切り替えるのが下手で注意されるところ
- ・手を抜く人がいる
- ・時間
- ・落ち着きがない
- ・授業中の私語
- ・授業の準備が慌ただしい
- ・ふざける(ふざけ過ぎる)
- ・整列に時間がかかる
- ・行事以外での校歌
- ・ちょっとしたことでのトラブルが多い
- ・廊下を走っている人がいる
- ・自分はやらないで一人の人に任せている
- ・朝、ギリギリに登校する人がいる
- ・もっと自信を持つこと！
- ・敬語の使い方